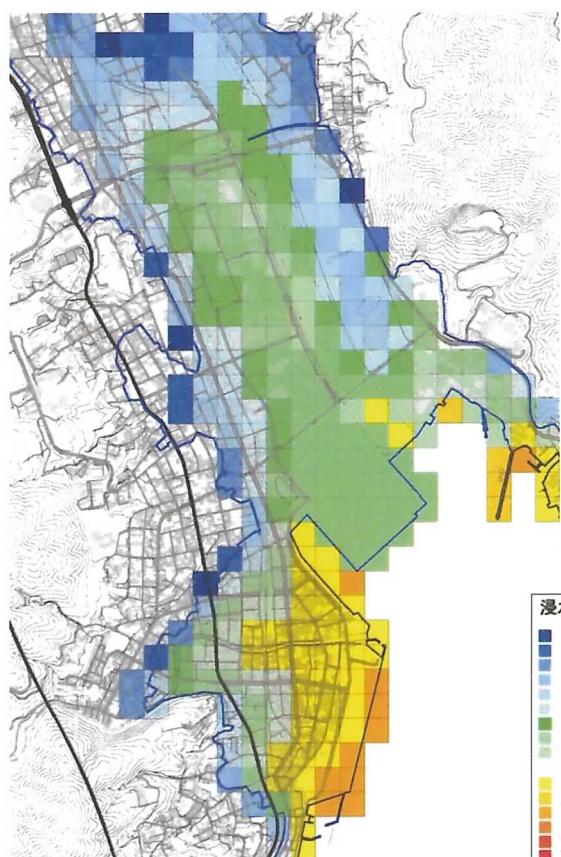
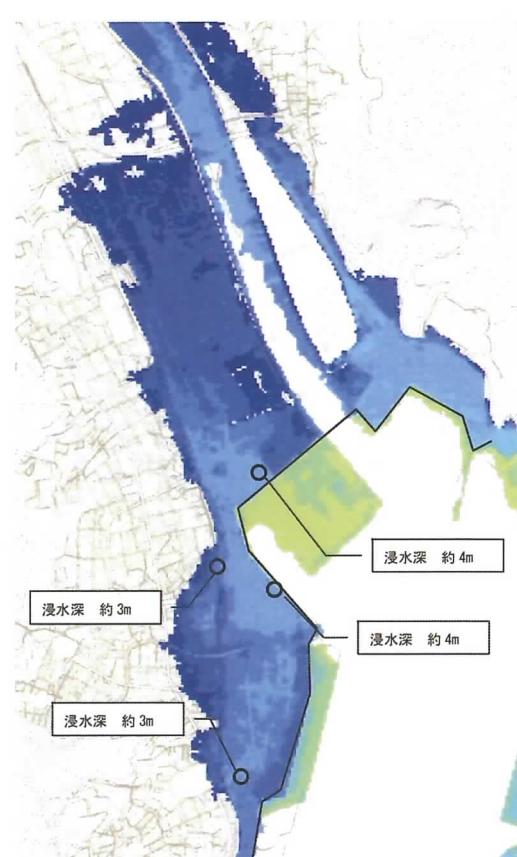


3. 地区別シミュレーション結果

■大船渡地区①（大船渡）

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	1. 3/11 時の津波（今次津波）の浸水深【浸水結果】	2. 防潮堤のみ整備の場合の津波シミュレーション (既往最大津波(東日本大震災津波)の場合)
図面	 <p>※100m メッシュ</p> <p>浸水深</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1m未満 ■ 1~2m ■ 2~3m ■ 3~4m ■ 4~5m ■ 5~6m ■ 6~7m ■ 7~8m ■ 8~9m ■ 9~10m ■ 10~11m ■ 11~12m ■ 12~13m ■ 13~14m ■ 14~15m ■ 15m以上 	 <p>※10m メッシュ</p> <p>(湾口防波堤 T.P.+10.4m , 防潮堤 T.P.+7.2m)</p> <p>浸水深 約 3m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 3m</p>
考 察	<ul style="list-style-type: none"> ・湾口防波堤 (T.P.+10.4m)、防潮堤 (T.P.+7.2m) の整備により、今次津波より浸水区域は減少する。 	

——：防潮堤の位置（シミュレーション上の想定）

(県道丸森権現堂線～川口橋ラインの嵩上げ)

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	3-1. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【道路嵩上げで止めるケース】	3-2. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深1mまで許容するケース】	3-3. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深2mまで許容するケース】	3-4. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【道路嵩上げ高T.P.+4mのケース】
図面	<p>(盛土高 約6m)</p> <p>浸水深(m)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 0m未満 ■ 1~2m ■ 2~3m ■ 3~4m ■ 4~5m ■ 5~6m ■ 6~7m ■ 7~8m ■ 8~9m ■ 9~10m ■ 10~11m ■ 11~12m ■ 12~13m ■ 13~14m ■ 14~15m ■ 15m以上 <p>※10m メッシュ</p> <p>● 湾口防波堤 T.P.+10.4m ● 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>● 道路嵩上げの高さが最低T.P.+7.0mであれば背後の浸水を防げる。</p>	<p>(盛土高 約5m)</p> <p>● 湾口防波堤 T.P.+10.4m ● 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>● 浸水深 約1m</p> <p>● 浸水深 約5m</p> <p>● 浸水深 約6m</p> <p>※10m メッシュ</p>	<p>(盛土高 約4m)</p> <p>● 湾口防波堤 T.P.+10.4m ● 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>● 浸水深 約2m</p> <p>● 浸水深 約4m</p> <p>● 浸水深 約5m</p> <p>※10m メッシュ</p>	<p>(盛土高 約3m)</p> <p>● 湾口防波堤 T.P.+10.4m ● 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>● 浸水深 約3m</p> <p>● 浸水深 約4m</p> <p>● 浸水深 約5m</p> <p>※10m メッシュ</p>
考 察	<p>・県道丸森権現堂線から川口橋まで道路嵩上げを行う場合、T.P.+7.0m（盛土高約6m）で浸水を防ぐことができる。浸水深1m未満を許容することで盛土高は約5m程度となり、盛土高を約4m程度とすると一部の箇所で浸水深が2mを超える。</p>			

——：防潮堤の位置（シミュレーション上の想定） ——：道路嵩上げの位置（想定）

(県道丸森権現堂線～佐野橋ラインの嵩上げ)

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	4-1. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【道路嵩上げで止めるケース】	4-2. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深1mまで許容するケース】	4-3. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深2mまで許容するケース】	4-4. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【道路嵩上げ高T.P.+4mのケース】
図面				
考察	<p>・県道丸森権現堂線から佐野橋まで道路嵩上げを行う場合、T.P.+7.0m（盛土高約6m）で浸水を防ぐことができる。浸水深1m未満を許容することで盛土高は約5m程度となり、浸水深2mを許容すると盛土高は約4m程度となる。</p>			

——：防潮堤の位置（シミュレーション上の想定） ——：道路嵩上げの位置（想定）

(JR 大船渡線～川口橋ラインの嵩上げ)

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース	5-1. 防潮堤+JR 嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【JR 大船渡線嵩上げで止めるケース】	5-2. 防潮堤+JR 嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深1mまで許容するケース】	5-3. 防潮堤+JR 嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【JR 嵩上げ高 T.P.+4m のケース】
図面	<p>(盛土高 約 5m)</p> <p>浸水深 約 6m</p> <p>盛土高 5m</p> <p>盛土高 約 5m</p> <p>浸水深 約 0m</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>盛土高約 5m</p> <p>浸水深(m) 1m未満 1~2m 2~3m 3~4m 4~5m 5~6m 6~7m 7~8m 8~9m 9~10m 10~11m 11~12m 12~13m 13~14m 14~15m 15m以上</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>JR嵩上げの高さが最低T.P.+6.0mあれば背後の浸水を防ぐ。</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p>	<p>(盛土高 約 4m)</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>盛土高 4m</p> <p>盛土高 約 4m</p> <p>浸水深 約 1m</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>盛土高約 4m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>JR嵩上げの高さが最低T.P.+5.0mあれば背後の浸水を1m未満にできる。</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p>	<p>(盛土高 約 3m)</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>盛土高約 3m</p> <p>盛土高 約 3m</p> <p>浸水深 約 2.5m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>盛土高約 3m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>JR嵩上げの高さが最低T.P.+4.0mの場合</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p>
考察	<ul style="list-style-type: none"> JR 大船渡線から川口橋までの鉄道敷地等の嵩上げを行う場合、T.P.+6.0m（盛土高約5m）で浸水を防ぐことができる。浸水深1m未満を許容することで盛土高は約4m程度となり、盛土高を約3m程度とすると一部の箇所で浸水深が2mを超える。 		

：防潮堤の位置（シミュレーション上の想定）

：道路嵩上げの位置（想定）

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

(JR 大船渡線～佐野橋ラインの嵩上げ)

検討ケース	6-1. 防潮堤+JR 嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【JR 大船渡線嵩上げで止めるケース】	6-2. 防潮堤+JR 嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深 1m まで許容するケース】	6-3. 防潮堤+JR 嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション 【浸水深 2m まで許容するケース】
図面	<p>(盛土高 約 5m)</p> <p>浸水深 約 1m</p> <p>盛土高約 1m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>盛土高約 5m</p> <p>浸水深 約 0m</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>JR嵩上げの高さが最低 T.P.+6.0m あれば背後の浸水を防ぐこと。</p> <p>浸水深 約 1m 未満</p> <p>盛土高 約 4m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 0m</p> <p>浸水深 約 0m</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>JR嵩上げの高さが最低 T.P.+6.0m あれば背後の浸水を1m未満にできる。</p> <p>浸水深 約 3m</p> <p>盛土高 約 0m</p> <p>浸水深 約 1m 未満</p> <p>盛土高 约 3m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 2m</p> <p>盛土高 约 3m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>JR嵩上げの高さが最低 T.P.+4.0m あれば背後の浸水を2m未満にできる。</p>	<p>(盛土高 約 4m)</p> <p>浸水深 約 1m 未満</p> <p>盛土高約 0m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>盛土高約 4m</p> <p>浸水深 約 0m</p> <p>浸水深 約 5m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>JR嵩上げの高さが最低 T.P.+6.0m あれば背後の浸水を1m未満にできる。</p>	<p>(盛土高 約 3m)</p> <p>浸水深 約 1m 未満</p> <p>盛土高 约 0m</p> <p>浸水深 約 4m</p> <p>盛土高 约 3m</p> <p>浸水深 約 2m</p> <p>浸水深 约 4m</p> <p>浸水深 约 4m</p> <p>※10m メッシュ</p> <p>湾口防波堤 T.P.+10.4m 防潮堤 T.P.+7.2m</p> <p>JR嵩上げの高さが最低 T.P.+4.0m あれば背後の浸水を2m未満にできる。</p>
考察	<ul style="list-style-type: none"> JR 大船渡線から佐野橋までの鉄道敷地等の嵩上げを行う場合、T.P. +6.0m（盛土高約 5m）で浸水を防ぐことができる。浸水深 2m を許容すると盛土高は約 3m 程度となる。 		

：防潮堤の位置（シミュレーション上の想定）

：道路嵩上げの位置（想定）